

栄東まちづくり協議会 7月協議会 議事録

日 時：2024年7月4日（木）18:00～20:40 場 所：栄東まちづくり協議会会議室
出席者：田端、辻本、谷澤、近藤、江口、小澤、六角（野田代理）、藤井、池田、渡邊、
山岡、鈴木、只井

●会長不在における職務代理について

野田会長が本定例会も含め一定期間不在となる見込みのため、協議会規約第6条第4項で、第一順位として田端副会長と辻本副会長のいずれか、第二順位として谷澤副会長が会長の職務を代理すると規定されているところ、第一順位の2名のうち田端副会長が会長代理を務めることとする。それにより、本定例会の議事も田端副会長が進行した。

●定足数及び議事録署名人の確認

13人中13人の出席で栄東まちづくり協議会規約第10条第2項の規定（在籍委員の過半数の出席）により有効に成立、議事録署名人は江口委員と池田委員とする。

●委員以外の関係者の出席について

協議会規約第10条第6項の規定により、「報告事項1 調査研究事業」について調査研究事業実行委員長の伊藤氏が出席した。

■議題

1. 防災事業 防災訓練の実施について

防災訓練の実施について資料の通り説明した。

<審議事項> 防災訓練の実施について、資料記載の役割に基づき、協議会で所要の経費を支出することが全員一致で承認された。

（質問、意見及び回答）

- ・実行委員会の位置付けがよく分からないところがある。地域3団体と協議会で事業を共催するという体制だが、リーダーシップをとって責任を持ってやってもらうためには、地域3団体のうち一つの団体がまとめ役になることが必要ではないかと思う。例えば防災事業の防災訓練については今までは栄東女子大小路ビル協会が中心になってやっていただいていたため、リーダーシップをとるのは栄東女子大小路ビル協会にやってもらうのが一番いいと思う。実行委員長はどの団体がやってもいいと思うが、その統率を取る団体が一つ必要ではないかと思う。

→特に行事類の事業が対象になるかと思うが、各事業をリードする主団体を決めることにするのであれば、今年度から決めていただくこともできるし、どうするかを実

行委員会の中で決めていただくこともできると考える。それから、来年度以降の体制についても、来年度の予算要望の際に各地域団体間で検討いただき、各事業にリードする主団体を決めるのか、決めなくてもやっていけるようにするのかについて検討いただければと思う。

- ・ビルやテナントの方は年2回消防訓練を実施する法的義務があるため、栄東女子大小路ビル協会で防災訓練を実施してきた。数年前に、せっかく池田公園で大きな防災訓練をやっているのであれば、地域住民の方に参加していただいた方がよいのではないかとということで、地域住民の方にも参加していただく今の形になった。そして、ノウハウを共有するという意味でも一昨年度から実行委員会形式とし、ここ2年は栄東女子大小路ビル協会の方に実行委員長をやっていたが、それまで特定の人のみが担当していた消防署との調整や警察署への道路使用許可申請等について分担する体制になっている。
- ・防災訓練の実行委員長を栄東女子大小路ビル協会の方がやられているうちは、これまでの流れがしっかり分かっている方がリーダーシップをとってやっていただけるのでいいと思うが、段々とその団体以外の方が実行委員長になることが増えてきた場合に、やはり指揮統制を取る団体が一つは必要ではないかと思う。実行委員長も初めて就任する場合は特に指揮統制・責任を取る主の団体を明確にした方がいいのではないかと思う。
- ・実行委員会制の一番の目的は誰でもできるようにするという点のため、実行委員長に限らず委員の方は下見や各種申請もやっていただく方が良く思う。主の団体を決めていただいても結構だが、実行委員会制である以上は皆でできるようにした方がよい。防災訓練の場合だと、ビルの屋上からの救出訓練やレスキューが屋上からロープで降下する訓練をするために栄東女子大小路ビル協会に依頼し、会員ビルを使っているという関連もあり、やはり栄東女子大小路ビル協会が防災訓練の主になるということは自然なことでもあると思うが、固定をせず、地域3団体で一緒に事業をするという形でやった方がよい気もする。
- ・防災訓練に関して、栄東女子大小路ビル協会としては防火管理者という定義があるので、年2回の消防訓練をやらないと罰金等もあり、様々な知識が必要である。そのため、栄東女子大小路ビル協会がリードするか、又は実行委員の皆さんできちんと勉強するかどちらかだと思う。この点が、夏まつり・イルミネーションイベントと防災訓練が違う部分だと認識している。
- ・数年前から提案しているが、阪神淡路大震災では救助された人の約80%が共助によるものであったり、能登半島の地震ではトイレと水が重要だと聞いているため、それらを勘案した内容を少し考えていいかもしれない。例えば材木に足が挟まれた状態でパールで持ち上げるようなものは今はないため、そういった内容も増やしていったらどうか。今年度からの追加は大変かもしれないが、来年度くらいから住民の自助や災害対策のため、防災担当委員である町内会長等地域住民も中心に入るような形でこの防災事業を考えていただきたい。栄東女子大小路ビル協会の訓練済証だけでなく、住民も参加して

住民として勉強したことを示すステッカーも提案して消防署と話し合っ作ることも考えるべきではないかと思う。

- ・防災訓練というのは地域活性化事業ではなく、皆さんが身の危険を守るためにどうしたらいいのかということをお勉強するための訓練である。消火器の使用法一つとっても、ピンを抜いてレバーを握ることさえ知らない人もいる。訓練で水消火器を体験してもいざ実際の消火の場面になるとなかなか対応できないことが多いため、継続して実施することが大切だという思いから毎年同じような訓練内容で実施している。皆が参加することは非常にいいことである。元々栄東女子大小路ビル協会の事業だった訓練を地域に拡大して地域住民の方も参加するようになった。圧倒的に栄東女子大小路ビル協会からの参加者が多いが、専門学校や日本語学校に通う留学生の方等も参加してくれるようになった。栄東発展会でも地域でどういう風に防災訓練を利用したらいいかを考えていただき、住民用に参加証等が必要だということであれば、中消防署等と調整していただければと思う。

2. 地域活性化事業 池田公園イルミネーション装飾について

池田公園イルミネーション装飾について資料の通り説明した。

<審議事項> 池田公園イルミネーション装飾について、資料記載の仕様案を参考に各地域団体で情報共有と意見集約をいただき、7月23日までに事務局へ報告すること及び資料記載のスケジュール案に基に事業を進めることが全員一致で承認された。

(質問、意見及び回答)

- ・7月23日までに事務局に報告するのは案1、案2、案3のうち、どの案がいいと思うかということか。また、その選定理由まで必要か。
→その通りである。選定理由は教えていただけるようであればお願いしたい。
- ・費用は全案同じか。
→全て予算内に収まる見込みであるが、費用は設置する部材の量によって変わる。一番安いのは案1である。
- ・協議会の事業のため、協議会の予算の範囲内でやると思うが、例えば協賛金や別のお金があった場合に、この装飾を更に追加することを実行委員の方で決めてもよいのか。
- ・協賛金はイルミネーションイベントで使うものであり、お金の使い道が違う。装飾は協議会の予算の範囲内で設置するだけである。
- ・それぞれの案の経費についても資料に掲載いただきたい。
→記載する。なお、現在は過去に受注実績がある業者に下見積りを取った段階で厳密な経費は記載できないが、案1は昨年度と同等の金額、案2は案1に約10万円プラス、案3は案1に約7万円プラスとなっている。

- ・どうしても各地域団体が決めないといけないのか。協議会のこの場で決めてはどうか。
→昨年度と同じ仕様を復元する案 1 の場合、2022 年度から今年度まで 3 年間全く同じとなる。協議会及び地域団体の役割分担として地域で考え決めていただくという部分で、事務局としては、一つの案のみだけではなく、複数案を地域団体が検討していただけるように考えたものである。しかし、昨年度の歩道イルミネーション装飾を地域団体へ持ち帰らず協議会の場で決めていただいたのと同様、この場で決めていただくことも可能である。
- ・栄東発展会は各案を皆さんに見ていただいて賛否を問いたい。
- ・栄東女子大小路ビル協会は栄東まちづくりの会で決まった案に従うこととしたい。

■報告事項

1. 調査研究事業について

調査研究事業について資料の通り報告した。なお、会議資料の一部はウェブサイトでは非公開とする。

(質問、意見及び回答)

【事業及び設問の内容について】

- ・調査研究事業は協議会の事業として実施しているはずだが、アンケートの設問内容やこれまでの実行委員会での話し合いの様子を見ると、まるで栄東女子大小路ビル協会主催のアンケート調査のように取れて仕方がない。前回の協議会でも、この栄東地域全体のアンケート調査を実施するというので、事業目的がそこに絞られたと理解している。協議会の事業は、一つ目は栄東周辺地域の魅力づくり・にぎわいづくり、二つ目が暮らしやすい地域づくりを目指す事業である。今年度 2024 年度の予算を決定するにあたり、補助金収入が減少する見込みであることを踏まえ、協議会にとって非常に大事な事業であったと思われる多文化共生事業を止めた。そのような状況下において、新規でこの調査研究事業が予算化された。
このアンケートの内容を見ると確かに栄東地域の今後の活性化、にぎわい・魅力づくりに影響するような内容もあるが、飲食店に関わる設問については、その調査結果の活用についてはこの地域の飲食店に考えてもらうことであり、そのようなアンケート調査であれば、やらない方がいいのではないと思う。
- ・確かに多文化共生事業の予算が削られたことは非常に残念だったが、今年度 2024 年度の事業計画を議論する中で決まったことであり、現在は事業を執行している段階である。それについて今言うべきではないのではないか。
- ・多文化共生事業については参考として言っただけで、それを原因として発言している訳ではない。この事業の目的について、栄東女子大小路ビル協会が実施するのであれば文句はないが、協議会の事業としてやるべきかどうかということだ。最初の目的は栄東地域の商業エリアとしての状況を客観的に把握するために実施するというので協議会

で決定したはずだ。事業を実施するのは結構だが、アンケート調査の内容で飲食店に絞った部分については活用の意味が分からない。

- ・実際のアンケート項目を見ても飲食店に絞っているとは思わない。調査という一つの項目だけではなく広く様々な項目が入るものであり、その中で飲食店も当然入ると思う。昨日も2時間ほどかけて実行委員会が開催された。栄東発展会からも実行委員が出席しており、その委員の発言や前回までの協議会で出た意見も随分取り入れた非常に広い調査項目になっていると思う。調査を実施するという事は決まったことであり、それに基づいて進んでいる。
- ・一次調査をすることについては了解した。しかし、二次調査で飲食店を中心とした更なる利用実態を調査するという事についてはいかがなものか。この内容で実施するという事であれば、各地域3団体で協議の場が必要だと思う。実行委員長からの一方的な報告だけを聞いて、やるということはみんな理解していると思うが、実際やるかどうかはもう一度協議の場が必要だと思っている。
- ・やるということについては事業計画を策定する段階で既に決まっていると思うがいかがか。
- ・それは了解している。前回の協議会の中で方向性がずれているという話があり、その中で最終的に地域全体についても調査をするということで決定したと理解している。しかし、今日上がってきた内容が飲食店を中心とした利用実態を二次調査でやるということなので、前回協議した内容と違うのではないか。そのため、この場でこれでいいのかどうかを協議していただきたい。
- ・栄東発展会から選出された実行委員2人に直接話を聞いたが、住民の視点も入れて設問内容を変更・改善しているとのことだった。設問内容について引っかかる部分が一部あるかもしれないが、この事業は決定した事業計画に基づいて進められてここまで来ており、アンケート項目を決定しないと調査にも入れない。行政の視点も入れた設問内容のブラッシュアップを経て、7月中に調査実施するスケジュールで進めており、そういった状況であまり横槍を入れると事業の進行ができない。
- ・先程から発言のある「既に計画に基づいて事業を進めている状況であり、設問内容は各地域団体から選出された実行委員会へ任せて調査を実施する」という考え方で進めるのが良いのではないかと思う。50万円の予算規模で新しいことをやる際にこういう風な論議となってしまうのは正直悲しいと感じる。実行委員会からの報告を受ける機能、受けた報告を集約する機能、それに対して意見を述べ合ってそれをまとめてまた実行委員会に返し協議会へという話し合いの流れや機能を持たせることは不可能だと思う。各地域団体から2名ずつ出て、街のことをよく知っている6名で運営する実行委員会がある訳であり、お任せできないような重大なことでもないと思う。

【地域団体内での情報提供等について】

- ・このアンケート調査について理解が深い方であれば皆さんにうまく説明できるが、自

身の今の理解度では栄東発展会でそこまで説明ができるかどうか非常に不安な面がある。栄東発展会の皆さんへ説明をし、同意が得られれば前向きに進めてもらうのはいいと思う。

- ・ 栄東発展会の辻本会長への要望だが、これまでの報告になかった情報が出てきているため、栄東発展会で状況を報告していただきたい。調査内容については栄東発展会の中で選出された実行委員からの報告もなく、この協議会の報告だけでしか知らず、内容や実行委員会で何をやってるのは実行委員しか知らない状況である。今はその限られた情報を基に自身の意見として、違うのではないかということしか言えない。
- ・ このアンケート項目について本当にこれで良いかどうかというのをもう少し詰めないといけない。栄東発展会の皆さんに意見を聞き、これで本当に良いかどうかという判断を栄東発展会の意見として出したらどうか。皆さんの同意を得た結果に従う。
- ・ 夏まつりでも実行委員に内容を任せているように、調査内容についてはある程度実行委員に任せてお願いしている面もあると思う。
- ・ 夏まつりは全体会議をやり、皆さんへ内容の報告をして、進め方について特に意見がなければそれで進めていただくという体制である。但し、今回の調査研究事業の実行委員会からの栄東発展会への報告は一切ないため、そういう場を作っていただきたい。
- ・ 栄東発展会では会長の改選があった関係もあり、調査研究をテーマにして話し合いの時間を作る機会がなかったのは事実であるが、そういった不足な部分は、選出した実行委員に直接聞いて理解しようとしている。協議会委員であっても同じことはできると思う。
- ・ 今回報告されたアンケート内容は実行委員会で作成したものとのことだが、栄東発展会において実際に実行委員をされている方からの報告は本当に全くなかった。どういう風に進めていてどういう意見が出されたかという報告が全くないということは少し問題があるのではないかと思う。栄東発展会の現在の状況としては、前会長から改選があり、現在の辻本会長が運営されるようになって定例会もまだ2回しかなく、その中でどうやって運営していくかという模索段階である。それと並行してこの実行委員会が行われている訳であり、そういう場が持たれてなかったというのがやはり今回の問題だと思う。これを機に、栄東発展会で実行委員に報告させる場を作っていくべきではないかと思う。
- ・ 今回の調査研究事業は専門的な要素も多く、実行委員であっても全体を完全に説明するのは少し難しい要素もあるため、前回の栄東発展会・栄東まちづくりの会の共同の定例会で実行委員長より説明した経緯があった。そのため、呼んでいただければ実行委員長も一緒に説明させていただく。
- ・ 各地域団体への説明義務があるという点に関しては、各地域団体で実行委員の方からそれぞれの視点でこういう意見を出したというようなことをご説明いただければよいのではないかと思う。
- ・ 同じく実行委員会にオブザーバーとして参加しているが、昨日の実行委員会でも非常

に密度の濃い会議を見せていただいた。それだけの多くの項目が入っており、それを栄東発展会で 15 分で説明することは絶対できない。そのため、全員でやるよりもその中心の協議会委員と実行委員で話し、ある程度は任せるといふ風にしていかなければならないと思う。時間的にもう 4 月からスタートして今月 7 月には調査に入るという当初よりのスケジュールで進めてきており、ある程度認めてはどうか。

- ・今の提案は認められない。
- ・先月の栄東発展会・栄東まちづくりの会の合同定例会の中で「このアンケート調査は 1 回では終わらず、2 回 3 回とやらないと成果が出ない」ということを実行委員長が発言された。協議会としてはそのような調査であれば、1 回で 50 万円、3 回やったら合計 150 万円となるが、そういうことを考えているかどうか質問したい。
- ・先月の栄東発展会・栄東まちづくりの会の合同定例会の中で説明したのは、例えば一次調査の Q5 は各繁華街における栄東地域のポジショニングを観測する重要なキーワードになってくるところ、それを 3 年後や 5 年後等に定点観測的に調査し、ポジショニングがどう変化して行くのか、或いは変化しないのかを確認するのは非常に重要な最初の一步になると思うという説明をしたもの。それは単に調査して変わらない又は変わったと言う捉え方だけではなく、何をしたいか、この街をどうしたいかというような施策と連動してその成果がどうかということマイルストーン的に確認して行くためには重要な一步目になるだろうという話であり、そういった意味では続けることに意味があるとは話した。但し、お金をずっと使い続けなければいけない、それでなければ成果が上がらないというような話はしていない。
- ・他の委員の方は今回報告の内容で納得はされている。先程事務局から説明があった通り、表現等は行政の視点でも確認いただいているため、今後一部変更があるかもしれないが、実行委員会で一生懸命検討し、栄東発展会から出ている 2 名も意見も出していただき、非常に良くなってきた内容でこの調査を進めたい。質問があった来年度以降のアンケート実施や予算については、来年度の予算検討の際に各地域団体及び協議会で検討する事項のため、今年度調査を実施したから今後も実施するという話は別問題である。街路灯の話もあり、現在 7 月第 2 週に栄東発展会と栄東まちづくりの会で合同の定例会を開催する相談をしているため、その場で実行委員の方に調査内容を報告していただきたい。

【設問内容に係る行政委員の意見等】

- ・前回協議会での報告内容と今回では内容的には大分変化があったと思うが、このアンケート調査を見てどういう風に感じるかについて行政委員の意見も伺いたい。

(↓以下、設問内容に係る行政委員の意見)

- ・今までの発言で、飲食を中心という部分が引っかかるということだったが、具体的にこのアンケートのどの部分が引っかかっているのかを確認したい。聞く対象が飲食の人に偏っている点なのか、質問項目が飲食店に偏っている点なのか。

- ・一次調査の Q6、Q7 等のように、飲食店に寄っている質問項目が引っかかる。
- ・実行委員会にオブザーバー参加した際に途中経過を協議会で報告いただけないかと提案した趣旨は、実行委員会の役割であるアンケート項目・設問内容を定める作業をするにあたり、ある程度全体的な意見交換をし、広がったものを絞り込んでいくというプロセスがある。その全体的な意見交換の部分で地域の皆さんでかなり本質的な部分も議論いただいております、そういった内容は今後協議会で大きな議論をしていくうえでの参考になる貴重な意見ではないかと思ったため、途中経過を協議会で共有いただくことになった。

そのうえで、今回のアンケート項目の内容を拝見すると、自身の実体験と認識も含めてだが、この栄東のエリアにあるお店は飲食店関係が非常にたくさんあり、このエリアに来られる理由は、飲食が目的である方が多いのではないだろうかと思われる。しかし、アンケートの内容が飲食だけで終わっているかという点決してそうではない。ただ、飲食が目的でこのエリアに来る方が多いということは想定されるため、入り口として飲食についての項目を設定することは必要だと考える。最終的にアンケート結果をこの協議会でどう捉えるのかといったところが一番大切であると思うため、実行委員会で議論を経て作成された設問内容については、大幅に否定することはないのではないかと思います。むしろ、結果が出てきた後は我々の腕が試される場所かもしれない、結果が出た暁にはどういう風にそれを今後の栄東エリアのまちづくりに活かすことができるのかについて、協議会に参加している行政委員としても緊張感を持ち、重く捉えている。

- ・一次調査の Q5 に関し、名古屋市中心部の繁華街エリアの設定について住宅都市局として金山周辺エリアを追加するよう提案したという経緯もある。この項目は、調査をしてみると非常に面白いのではないかと感じる。シーン毎にどの繁華街エリアがどの目的で使われるかが分かると栄東地域の特徴が捉えられると思うため、この項目はぜひ調査できるといい。また、アンケート全体の印象は、資料記載の(1)調査項目の部分で「飲食を中心とした更なる利用実態」という風に記載があるため、飲食ばかりの質問が入っている印象になるが、実際に設問内容を見ると、確かに飲食の質問は多いが、買い物等それ以外の質問も網羅されているため、あまり違和感はなく、これはこれで一つの手法かと感じた。調査の結果をぜひ早く見たいと感じた。
- ・本当に長い時間かけて入り口のところでしっかりやってもらっているので、おそらくいいアンケートになると思うし、それをしっかり分析していただいて、また来年度以降につなげるということでぜひよろしくお願ひしたいと思う。
- ・一次調査の Q5 の利用シーンの設定の過程で宿泊というのは検討されたのか。新しいホテルができたビジネスホテルもあるため、宿泊というシーンがあってもおかしくないのではと感じた。
→この度の調査対象が名古屋市内在住の方としているため、確かに観光・結婚式等で宿泊に来られる市内の方も考えられなくはないが、今回は検討の中で外している。

(↑設問内容に係る行政委員の意見はここまで)

- ・この度の調査についてポイントが2つある。まず一つ目は、まちづくりという観点でこのエリアは商業エリアであり、しかも繁華街・歓楽街というものを主体としてそれが収益のベースになっているエリアで、その一丁目一番地である飲食をどうしていくかということ抜きにして、例えば飲食店も美容室も同じ比重で調査を実施するというのは難しく、自ずと飲食をどうするのがポイントになると考えている。次に、今回の事業を考えるにあたり池袋の街をベンチマークとして想定しており、そのエリアは1994年頃にはかなり悲惨な状況になり、その原因はいわゆる歓楽街がとても悪い状態になって住民が逃げ出してしまったことで、消滅可能性都市と言われる状況にまでなってしまった。栄東エリアがそのエリアと一緒にとは言わないが、そのように商業エリア、歓楽街の状態が悪くなると住民にとっても決していい環境にはならないということで、商業エリアの発展性、健全化ということはとても大きなポイントである。今の状態から将来どうして行きたいかというところは大きなテーマであり、やはりアプローチするべきではないかと思っている。
- ・実行委員会にオブザーバーとして参加し、検討の経緯を見てきたが、確かに最初は栄東女子大小路ビル協会のためのアンケートではないかという部分が多い設問内容だったが、実行委員会の中で話し合い、実行委員の皆さんそれぞれが努力されてやっとここまで来た内容である。栄4丁目5丁目は商業地域であり、その現状把握のためのアンケート調査で飲食を除くことは不可能だが、先程説明したように設問の中に美容院や駐車場、介護施設等の文言がだんだん増えてきて今に至り、そういった部分で全体的に見て協議会の事業になったのかなという印象を持っている。大切なのはこの調査の実施後に調査結果をこの先の栄東地域のためにどのようにうまく活かしていくかであり、一つの課題になってくると思う。50万円という今年度の予算は補助金の収入が少なくなって他の事業の予算を削った中の新規事業で、大きな金額のため、それを意識していただきつつ実行委員の方に頑張ってください。
- ・入り口議論ばかりになっているが、実行委員のメンバーはこの街をどうしていきたいか等を議論しながら、長い時間をかけて設問項目について検討してきた。これからが本番で、まずは入り口に立たせていただきたい。
- ・会議資料に2016年度に協議会で実施した地域住民・就労者・訪問客を対象に実施したアンケート調査について記載がある。アンケート調査をやるのであればこれを基にしたアンケート調査をもう一回やってみるということの方が、この地域を知ったり何をやらなければいけないのかという材料にはなるのではないかと。
→2016年度に協議会で実施した調査は、栄東地域に外から働きに来ている人、遊びに来ている人も含めてではあるが、主に地域の中の人を対象とした調査である。この度の調査研究の事業計画としては、栄東地域の外の人がこの地域をどう見ているのかを客観的に把握しようという部分がポイントの一つでもあったため、2016年度と

同じ調査をするのは無意味ではないが、元々の方向性が違うと考える。なお、2016年度の調査の設問内容は参考にしており、方向性が異なるため同じ設問とはなっていないが、この地域の通称や地域イベント・コミュニティ活動の認知度を調査する内容は入れている。

【スケジュールについて】

- ・事務局よりスケジュールについて補足説明する。7月中に調査を実施するスケジュールになっている理由は、予算が限られており、ネットリサーチで外部委託すると予算を超過するという状況の中で、回答結果の分析や報告書作成を委託しない仕様としている。そのため、分析だけでも1か月以上かかるのではないかと見込んでいる。分析後に調査結果の報告書を作成し、それを10月の協議会で報告したうえで、その後に2025年度の予算要望に向けて各地域団体に検討していただけるように今のスケジュールを立てているため、7月中の調査実施となっている。アンケート調査実施後にクロス集計等細かい分析作業があることをご承知おきいただきたい。
- ・栄東発展会でご報告いただく時に、当初より設定・報告されているスケジュールを踏まえて考えたいと思う。設問内容もちろん非常に大切であるが、調査結果も大切であり、それが予測通りとなるかも含め調査をやらないと分からない。その調査結果を率直に楽しみにしている一人であるが、調査結果を活かして限られた補助金でこの栄東地域の街を更に良くしていくのか、今後どういう風にまちづくりをやっていくのかを考えることが肝になるため、10月に調査結果の報告ができ、その調査実施のために設問内容を決める時期等を意識してほしい。調査結果で気になる点や気に入らない点があれば、それも今後どういう風に活かしていくのか、次の動きとして更に調査をするのか事業なのか、それとも栄東女子大小路ビル協会や栄東発展会、栄東まちづくりの会又は行政に依頼する等やり方いろいろあると思う。そういった今後の展開を想定したうえで地域団体としてのご議論と結論をまとめていただけたら大変有難いと思う。
- ・この協議会自体がポートピアの収益に基づいた補助金で成り立っており、その補助金を使うためスケジュール（単年度及び翌年の予算編成の時期等）がいかにともしがたいルールとして定められている以上、この執行ルールをある程度尊重したスケジュール感で進んでいただければいいと思う。じっくり議論したいと言うのは分かるが、じっくり議論して決まった時点で支出できるというようなお金ではないため、そこにご留意いただいたうえで議論を尽くしていただければいいと思う。

【分析作業について】

- ・分析作業は実行委員がやるのか。
→その業務を外部委託すると事業予算の範囲に収まらないため、限られた予算の中でいかにこの地域の現状を把握する調査をするかというところで今の形となっている。実行委員の分析が何か恣意的に偏るのではないかと趣旨のご発言であれば、事務局で実施する。

- ・アンケート調査の内容によりよっぽど重要な話ではないか。
- ・その通りである。分析が一番大切であり、先程お話ししたこれからが本番というのはこの部分も含まれる。元々の昨年度の予算要望の際も、自分達でかなり背負う覚悟で予算申請した経緯がある。
- ・客観的な目で見るといふ観点で、分析作業は事務局でやるのがいいと思う。住民や事業者はどうしても雑念が入ると思う。

2. 街路灯整備事業について

街路灯整備事業について資料の通り報告した。また、前回協議会開催後の7月栄東発展会定例会において協議した内容について、栄東発展会より以下の報告があった。なお、会議資料の一部はウェブサイトでは非公開とする。

【栄東発展会6月定例会の協議内容について（報告）】

- ・2022年度中に栄東発展会で案を検討のうえ協議会で決定している現在の栄5丁目の整備計画（路面平均照度が20ルクス且つ連続して明るい設定）をまず無しとすることが承認された。
- ・建柱位置とばし案の考え方について、その方向性とする事が承認された。
- ・電灯料に関連し、路面平均照度を20ルクスではなく10ルクスとする提案があった。

（質問、意見及び回答）

- ・ポートピアの売り上げは分かるか。今後予算通りとなるか。
- ・5月の売り上げは昨年度の同月を下回っており、前年度比で約15%マイナスだった。参考までだが、昨年度2023年度は4～6月の春頃は売上が前年度2022年度比で落ち気味で、夏頃から回復した傾向があった。今年度は同様ではないかもしれないが、春は落ち気味で進んでいる状況ではある。
- ・こういう状況を見ながら今後計画通り進むかどうかということも協議会では考えていかなければいけないと思う。
- ・今回の報告で街路灯は建てて終わりではなく、その後の経費がこれだけかかってくることや、概算費用見込みはフルコストで算出した内容だが、いかに本数を少なくするかが大事になってくるかが分かる。最終的には町内会に負担が来ることになるため、その点も皆さんでよく考えていただき、建てる本数と位置をご検討いただきたい。できれば栄4丁目に設置した街路灯を移設して、栄5丁目に持って行きたいぐらいであり、それくらい考えないといけない。例えば電気代にしても今は国からの負担軽減の補助金が再開して下がるような情報はあるが、おそらくずっとは続かない。先程報告があったポートピアの売上も、下がった昨年度の売上より、今年度の春は更に下がっているということであり、下手をすると今後協議会の全ての予算を街路灯整備事業につぎ込むというよ

うな形になってくるかもしれない。それも皆さんでよく検討していただきたいと思う。

- ・ 次回の栄東発展会の定例会で検討する際に、路面平均照度については、建柱位置とばし案に基づいて整備し、更に 10 ルクスに照度を落とした場合に暗くて困る可能性があるため、20ルクスの設定のままでとばして整備することを説明しようと考えている。

3. 地域活性化事業 夏まつりの実施について

夏まつりの実施について資料の通り報告した。

(質問、意見及び回答)

- ・ 昨年度の夏まつりの実行委員会で開催後に反省会をされ、その内容を踏まえてどう改善するかについて考えていただいていると思う。事業評価の中で栄東女子大小路ビル協会から暑さ対策として実施時期を検討すべきだという意見が出ていたと思うが、これについては協議したのか。(* 事務局より会議後の補足：栄東女子大小路ビル協会からの意見は「本年度は気温が高い時期が長く続き、開催日当日も非常に気温が高かった。万が一何らかの問題が発生した場合、世間からの誹りを免れないため、開催日をずらすことなど、さまざまな検討課題に配慮したほうが良いように思う」という内容であり、「2023年度の事業評価（第一次(2023年10月協議会にて報告)又は最終(2024年4月協議会にて報告)」ではなく、「2024年度の予算要望（2023年12月協議会にて報告）」にて要望があったもの)
- ・ 実行委員長を務めている立場でもあるが、開催時期については昨今の猛暑というところで、最初の実行委員会の会議の場で話題となった。協議の結果、この時期にこのエリアで開催する、もしかしたら日本で一番早い盆踊り大会という部分は守っていきいたいというところがあり、時期は例年通りとし、それを守るために暑さ対策等をどうするかを考えていこうということになった。
- ・ 今の状態から見ていると7月にしかお祭りをやる時期というのが日程的にないため、細心の注意を払って暑さ対策や食中毒対策をしたいと思う。今年は冷凍車も手配するため、熱中症になりそうな方は冷凍車の中へ入ってもらえることもできる。扇風機も台数を多く揃えて何とか乗り切りたいと思っている。皆さんも気をつけていただき、ご協力いただけるようによろしくお願ひしたい。
- ・ 熱中症のリスクが高くなるのは、お祭りの開催時間中より準備の時間帯であると思われるため、今年度は時間を早め、1日目は朝9時に集合するという形にしており、その際に集まった実行委員やお手伝いに来ていただいた方のケアというものを十分にしようという話も実行委員会ですしている。日が照っている時間帯に音響業者さん等も含めて細心の注意を払ってやるため、ぜひご安心いただきつつご協力お願ひしたい。

■その他

1. 次回協議会の日程について

次回協議会は8月1日（木）18:00より栄東まちづくり協議会会議室にて開催する。

以上